

器官制御医学講座／泌尿器科学分野 附属病院／泌尿器科

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	横山 修	平成14年5月－ 平成18年7月－（平成 27年4月－現職）
准教授	伊藤 秀明	平成5年5月－平成8年6 月、平成16年4月－ （平成27年3月－現 職）
講師	青木 芳隆	平成9年5月－平成11年 3月、平成13年7月－平 成15年3月、平成17年 4月－平成19年3月、平 成21年4月－平成23年9 月、平成25年4月－ （平成27年5月－現 職）
講師 助教	松田 陽介 福島 正人	平成28年6月－
		平成17年4月－平成20年 3月、平成22年4月－平 成24年3月、平成24年8 月－平成26年9月、平成 30年4月－
助教	土山 克樹	平成18年4月－平成21 年3月、平成23年4月－ 平成25年1月、平成25 年4月－（平成26年10 月－現職）
助教	多賀 峰克	平成19年4月－平成22年 3月、平成24年4月－（平 成28年4月－現職）
助教	関 雅也	平成19年4月－平成22年 3月、平成24年4月－平 成27年3月、平成28年5 月－（平成29年4月－現 職）
助教	稲村 聡	

2. 研究概要

研究概要

当領域は以下の研究部門による研究を継続実施している。

- 1) 尿路性器悪性腫瘍部門
- 2) 腎臓部門
- 3) 下部尿路機能部門
- 4) 性機能部門
- 5) 排尿ケア部門

1) 尿路性器悪性腫瘍部門

1-1) 尿路上皮がんに関する研究では、糖鎖である硫酸化シアリルルイスX (sLeX)が膀胱尿路上皮細胞に発現し、血管内皮細胞に発現するE-セレクチンとの結合能を有することを明らかにした。これは硫酸化sLeXを発現する循環細胞が血管内皮と接着し癌の転移に関与する可能性が示唆された。一方、膀胱間質に硫酸化sLeXを発現するHEV様血管が誘導されていることも明らかにした。一部は腫瘍細胞の近傍に位置しリンパ球の浸潤を伴っていた。リンパ球の中には細胞障害性Tリンパ球も含まれており、腫瘍免疫に関与している可能性があり、研究を進める。またシアリルルイス抗原は膀胱癌以外にも腎癌や上部尿路癌、前立腺癌など他の泌尿器科癌でも発現することが報告されている。前立腺癌や腎癌においても同様に糖鎖マーカーの有用性を検証している。

1-2) すべての糖鎖は血管内皮細胞に発現するE-セレクチンとの接着能を有し転移に関与することが示唆されている。糖鎖の足場蛋白の一つとされるMUC1蛋白の発現も糖鎖発現に関与しており、その足場蛋白の発現と糖鎖発現ひいては腫瘍細胞の悪性度/転移能に関して検討を行った。またMUC1をターゲットにしたMUC1由来ワクチンなどによる治療も行われており免疫治療における役割に関しても検討を行う予定である。

1-3) 細胞死に関わるオートファジーの誘導が癌治療の戦略として注目されている。一方でオートファジーは種々のストレスに対する細胞の防御反応ともなっていることが知られている。また、蛋白をコードしていないmicroRNA (miRNA) が、mRNAに干渉することで遺伝子発現を調整する働きを持つことが報告され癌治療への応用が期待されている。miRNAのうちmiR-204が腎癌細胞においてオートファジーを誘導することが報告された。miR-204の発現制御によってオートファジーを誘導することが腎癌治療にどのような効果をもたらすのかを解明することが進行腎癌に対する治療の一助となると考えられ、研究を行っている。

2) 腎臓部門

家族内発生の先天性腎症の原因遺伝子として分化制御因子Id2を中心に、その遺伝子変異解析を行っている。また、腎動態シンチトレーサーであるMAG3による腎機能評価の結果が併用薬剤の影響を受ける可能性について、近位尿管管に発現する有機アニオントランスポーター (OAT1) 発現との関連について検討を行っている。

3) 下部尿路機能部門

3-1) メタボリック症候群モデルとしてOLETFラット、高血圧の病態モデルとして食塩感受性高血圧ラットを用いて、蓄尿障害発生メカニズムや、β3アゴニスト、phosphodiesterase 5 inhibitor (PDE5i)の作用メカニズムについて検討を行った。その結果、OLETFラットには膀胱血流障害が存在し、PDE5iはその血流障害を改善すること、また膀胱上皮由来のメディエータであるATPの放出を抑制することで蓄尿障害を改善させる可能性があることを報告した。また食塩感受性高血圧ラットにも膀胱血流障害が存在し、膀胱上皮由来のメディエータであるATPプロスタグランジンE2の放出亢進がみられた。β3アゴニストは食塩感受性高血圧ラットの膀胱機能を改善させる可能性が示唆された。

3-2) これまで心理ストレスはラットにおいて性行動障害を惹起することを報告してきた。その仲介を果たすのが副腎性アンドロゲンであった。これを発展させ、心理ストレスによって増加する視床下部室傍核由来の副腎皮質刺激ホルモン放出因子 (CRF) に注目した。最近になりCRFの受容体が膀胱にも存在することが明らかとなっている。これまでストレス負荷ラット膀胱にもCRFが増加していることを報告したが、その生理的意義については不明であった。しかし高血圧のような生活習慣の乱れが重なる増悪因子となっており下部尿路機能障害を惹起しているという仮説を立て、自然発生高血圧ラットを用いてCRFの膀胱での作用について検討している。これまでにCRFは膀胱収縮自体には影響しないが、CRFR1を介してM3受容体に何らかのシグナルを出してムスカリン収縮を増強させることが解明された。

3-3) 前立腺肥大症における炎症の果たす役割。前立腺肥大症においてHEV様血管が炎症細胞浸潤に関与しているが、この血管数は下部尿路機能障害の臨床パラメータとよく相関することを報告した。すなわち前立腺の間質における炎症は下部尿路症状と関連するがその背景に前立腺の虚血が存在する可能性があり、研究を進めている。

3-4) 抗コリン薬は膀胱知覚C線維を抑制し夜間多尿を改善することを報告してきた。他の抗コリン薬やC線維を抑制する他剤ではどうか、また交感神経が関与するかについて研究を行っている。また、高齢者に多い脳血管障害や前立腺肥大症、さらには脊髄疾患に伴う過活動膀胱に焦点を当てて神経生理学的、分子薬理学的研究を行なった。下部尿路機能障害については製薬企業との共同研究が盛んで、薬剤作用機序の解明、新たな疾患モデルの開発など積極的な取り組みを行っている。

3-5) 福井県の住民健康調査を行っている施設や人間ドックの施設と協力して受診者に質問票を渡して疫学的調査も行っている。メタボリック症候群や生活習慣病と下部尿路症状、特に夜間頻尿とは密接な関連があることが疫学調査の結果から解明された。福井県の人間ドックの施設と協力して受診者に質問票を渡して疫学的調査を行った。生活習慣病としての糖尿病、その前段階としてのHbA1Cの異常はLUTSと関連あることが解明された。

4) 性機能部門

4-1) 性機能部門は、臨床的には勃起障害 (ED) 外来・男性更年期障害外来にて多数の患者の診療を行っている。

4-2) OLETFラットに対しPDE5iを投与することで性行動障害が改善することを報告した。この改善にはテストステロンの上昇とエストラジオールの低下を伴っており、PDE5iが内分泌環境を調整している可能性が示唆された。

5) 排尿ケア部門

5-1) 排尿自立指導料が保険収載され、慢性期病院を中心に尿路管理法の見直しが行なわれると期待されるが、福井大学附属病院の関連病院を中心に、泌尿器科が常勤ではない施設でも、不必要な尿道カテーテル抜去を系統的に行えるように、看護師主導で行えるクリティカルパスを作成し、カテーテル留置率を下げるか否かについて、prospectiveな研究を行なった。その結果、バスに従い、残尿量をパラメーターとして効率よくカテーテルが抜去できることが解明された。

5-2) 長期尿道カテーテル留置患者における様々なトラブル対策を行っている。具体的には、カテーテル閉塞の危険因子解析、閉塞に対するクランベリージュースの予防効果、カテーテルの形状や材質による閉塞度合の差、などについて、関連病院の要介護度の高い患者を対象に調査を行っている。

キーワード

- 1) 泌尿生殖器の腫瘍、糖鎖、オートファジー
- 2) 泌尿生殖器の疾患の治療、腎移植、分子メカニズム
- 3) 泌尿生殖器の疾患、下部尿路機能、メタボリック症候群、生活習慣病、過活動膀胱、ガイドライン
- 4) 泌尿生殖器の疾患、男性更年期障害、心理ストレス、性機能障害、下部尿路機能障害
- 5) 排尿自立指導、長期留置、感染、閉塞

特色等

- 1) 糖鎖マーカー、オートファジーに注目し、泌尿生殖器癌の研究を行っている。
- 2) 男性下部尿路症状・前立腺肥大症診療ガイドライン改訂版の作成委員として、また二分脊椎に伴う下部尿路機能障害の診療ガイドラインの作成委員としても活躍した。現在、女性下部尿路症状診療ガイドラインや、夜間頻尿診療ガイドラインの作成にもとりかかっている。
- 3) 当部門の特色として勃起障害などの性機能障害を下部尿路機能、睡眠障害あるいは心理的ストレスとの関連からアプローチする手法で研究している。また、本邦ではまだ十分な調査が行われていない女性性機能に関する疫学調査も行っており、下部尿路症状との関連性も見出している。
- 4) 現在、寝たきり患者が増加している我が国においては、長期尿道カテーテル留置中の患者に起こるカテーテル閉塞は大きな問題となっている。常勤泌尿器科医がいない病院、施設において、その対処法、あるいは不必要なカテーテルを抜去する適切な方法には、まだ確立されたものはなく、大学と民間病院とが協力しながら行う画期的な取り組みである。

本学の理念との関係

超高齢化社会を迎え、泌尿器科疾患を有する患者も急増している。
 尿路性器悪性腫瘍に限らず下部尿路機能障害、性機能障害などQOL疾患に対しても世界的水準での研究・教育を推進し、地域・国・国際社会に貢献できる人材の育成と独創的な研究を行っている。
 特に産学官連携を推進し、広く社会に貢献していると自負している。

3. 研究実績

区分		編数	インパクトファクター（うち原著のみ）
		2017年分	2017年分
和文原著論文		1	—
	ファーストオーサー	4	16.813 (16.813)
英文論文	コレスポンディング・オーサー	1	2.936 (2.936)
	その他	4	7.55 (7.55)
	合計	8	24.363 (24.363)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

- 1741001** Y. Aoki, H.W. Brown, L. Brubaker, J.N. Cornu, J.O. Daly, R. Cartwright: Urinary incontinence in women, Nat Rev Dis Primers, 3, 17042–17042, 20170706, DOI: 10.1038/nrdp.2017.42, #6.389
- 1741002** H. Ito, D. Wang, X. Zha, S. Inamura, M. Seki, M. Taga, O. Yokoyama: Castration increases PGE2 release from the bladder epithelium in male rats, Life Sci, 193, 252–256, 20180115, DOI: 10.1016/j.lfs.2017.10.037, #2.936
- 1741003** T. Shinagawa, H. Hoshino, M. Taga, Y. Sakai, Y. Imamura, O. Yokoyama, M. Kobayashi: Clinicopathological implications to micropapillary bladder urothelial carcinoma of the presence of sialyl Lewis X-decorated mucin 1 in stroma-facing membranes, Urol Oncol, 35(10), 60600000000000000000-6.06E+25, 201710, DOI: 10.1016/j.urolonc.2017.06.004, #3.668
- 1741004** Y. Homma, M. Gotoh, A. Kawauchi, Y. Kojima, N. Masumori, A. Nagai, T. Saitoh, H. Sakai, S. Takahashi, O. Ukimura, T. Yamanishi, O. Yokoyama, M. Yoshida, K. Maeda: Clinical guidelines for male lower urinary tract symptoms and benign prostatic hyperplasia, Int J Urol, 24(10), 716–729, 201710, DOI: 10.1111/iju.13401, #1.844
- 1741005** T. Watanabe, S. Yamamoto, M. Gotoh, T. Saitoh, O. Yokoyama, T. Murata, M. Takeda: Cost-effectiveness analysis of long-term intermittent self-catheterization with hydrophilic-coated and uncoated catheters in patients with spinal cord injury in Japan, LUTS, 9(3), 142–150, 201709, DOI: 10.1111/luts.12122, #0.302
- 1741006** R. Yokokawa, H. Akino, H. Ito, X. Zha, O. Yokoyama: Nerve growth factor release from the urothelium increases via activation of bladder C-fiber in rats with cerebral infarction, Neurourology, 36(6), 1448–1455, 201708, DOI: 10.1002/nau.23142, #3.56
- 1741007** M. Takeda, O. Yokoyama, M. Yoshida, O. Nishizawa, K. Hirata, R. Nakaoka, Y. Takita, M. Murakami: Safety and efficacy of the combination of once-daily tadalafil and alpha-1 blocker in Japanese men with lower urinary tract symptoms suggestive of benign prostatic hyperplasia: A randomized, placebo-controlled, cross-over study, Int J Urol, 24(7), 539–547, 201707, DOI: 10.1111/iju.13357, #1.844
- 1741008** S. Inamura, T. Shinagawa, H. Hoshino, Y. Sakai, Y. Imamura, O. Yokoyama, M. Kobayashi: Appearance of high endothelial venule-like vessels in benign prostatic hyperplasia is associated with lower urinary tract symptoms, Prostate, 77(7), 794–802, 20170515, DOI: 10.1002/pros.23319, #3.82

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

- 1741009** 横山 修: 大丈夫！何とかかなります 過活動膀胱 あなたのその症状、もしかして？, 株式会社主婦の友社, 20170930, DOI: 9784074250998

b. 著書（分担執筆）

- 1741010** 松田 陽介, 横山 修: 難治性過活動膀胱に対する新たな治療: 福井大学医学部附属病院: 福井大学病院の得意な治療がわかる本一最高・最新の医療を安心と信頼の下で, 株式会社バリューメディカル, 64, 20170731, 9784864890649
- 1741011** 横山 修: (編集) 日本排尿機能学会／日本泌尿器科学会 (協力) 日本小児泌尿器科学会／日本脊髄障害医学会: 二分脊椎に伴う下部尿路機能障害の診療ガイドライン[2017年版], リッチヒルメディカル株式会社, 20171001, 9784903849393
- 1741012** 糟野 健司, 岩野 正之, 横山 修: ライフスタイルに合わせ選択が可能な腎不全治療: 福井大学医学部附属病院: 福井大学病院の得意な治療がわかる本一最高・最新の医療を安心と信頼の下で, 株式会社バリューメディカル, 122–123, 20170731, 9784864890649
- 1741013** 福島 正人, 横山 修: 骨盤臓器脱と尿失禁の最新治療: 福井大学医学部附属病院: 福井大学病院の得意な治療がわかる本一最高・最新の医療を安心と信頼の下で, 株式会社バリューメディカル, 65, 20170731, 9784864890649
- 1741014** 伊藤 秀明, 横山 修: 手術支援ロボットで行う低侵襲手術: 福井大学医学部附属病院: 福井大学病院の得意な治療がわかる本一最高・最新の医療を安心と信頼の下で, 株式会社バリューメディカル, 62–63, 20170731, 9784864890649
- 1741015** 横山 修: 前立腺肥大症: 猿田 享男, 北村 惣一郎: 1336専門家による私の治療 2017–18年度版, 日本医事新報社, 1222–1224, 20170728, 9784784946501

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1741016 黒川 哲之, 兜 貴史, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修, 大山 伸幸: 頻尿を契機に発見された成人男性尿管癌の1例, 泌尿器科紀要, 63(5), 207-210, 20170531, DOI: 10.14989/ActaUrolJap_63_5_207.

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

1741017 青木 芳隆, 平山 千登勢, 松永 明子, 小川 依: チーム医療の重要性～排尿自立指導料の現状と今後の展望～, KISSEI KUR, 10(4), 13-17, 201710

1741018 横山 修, 伊藤 秀明, 青木 芳隆, 松田 陽介: 男性下部尿路症状・前立腺肥大症の病態, Prostate Journal, 4(2), 231-238, 20170901

1741019 青木 芳隆: 夜間頻尿とメタボリックシンドローム, 排尿障害プラクティス, 25(1), 41-46, 20170625

1741020 松田 陽介, 横山 修: 神経系による制御, Prostate Journal, 4(1), 115-120, 20170401

1741021 秋野 裕信, 横山 修: 過活動膀胱, 泌尿器外科, 30, 243-253, 20170430

1741022 横山 修, 伊藤 秀明: 過活動膀胱, 腎と透析, 84(3), 443-447, 20180325

1741023 横山 修, 稲村 聡, 小林 基弘: 前立腺肥大症における慢性炎症の関わりとPDE5阻害薬の可能性について考える, Kyo, (194), 1-5, 201712

1741024 横山 修: 学会好事 第19回日本女性骨盤底医学会, Urology Today, 24(4), 48-49, 20171225

1741025 横山 修: がん、排尿障害、アンドロロジー（男性学）を柱に、先進的な医療を展開!, 医心, (64), 22-27, 201712

1741026 伊藤 秀明: 膀胱鏡検査, 日本臨牀, 75(7), 138-141, 201710

1741027 横山 修: 財務委員会 報告, 会員向けNewsletter 2017年9月25日 理事会報告号, 20170925

1741028 横山 修, 柴木 宏実, 吉田 正貴, 鈴木 央, 秋下 雅弘: 過活動膀胱（OAB）治療の現状と課題～治療戦略におけるペニタス®の位置付け～, Astellas Square, 13(4), 4-11, 20170801

1741029 横山 修: 抗コリン薬における今後の展望, White, 5(1), 60-61, 20170515

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

1741030 Y. Matsuta: Summary of Japanese guideline of spina bifida occulta, EAU2018, Joint Session of the European Association of Urology (EAU) and the Japanese Urological Association (JUA) Urology beyond Europe, Copenhagen(Denmark), 20180316

b. シンポジスト・パネリスト等

1741031 O. Yokoyama: Pharmacological treatment of urinary incontinence in Japan, 2017 TUA Annual Meeting, PPCS/TUA symposium, Kaohsiung(Taiwan), 20170819

c. 一般講演（口演）

1741032 Y. Aoki, E. Sasamura, C. Kimura, K. Fujita, A. Itoga, Y. Matsuta, H. Ito, O. Yokoyama: Accuracy of bladder volume determination using a new portable handheld ultrasound bladder scanner: a prospective study of 34 consecutive inpatients, International Continence Society 47th Annual Meeting (ICS2017), Conservative Management Products Scientific Podium Short Oral Session 8, Firenze(Italy), 20170913

1741033 Y. Aoki, K. Sasaki, Y. Matsuta, H. Ito, C. Matsumoto, Y. Kusaka, O. Yokoyama: Overactive bladder is related to sexual well-being in Japanese women, AUA Annual Meeting 2017, Boston(USA), 20170514

1741034 S. Inamura, T. Shinagawa, H. Hoshino, Y. Sakai, Y. Imamura, O. Yokoyama, M. Kobayashi: Appearance of high endothelial venule-like vessels in benign prostatic hyperplasia is associated with bladder outlet obstruction, International Continence Society 47th Annual Meeting (ICS2017), Prostate and Lower Urinary Tract Symptoms Scientific Podium Short Oral Session 33, Firenze(Italy), 20170915

1741035 Y. Aoki, M. Okada, Y. Matsuta, H. Ito, C. Matsumoto, Y. Kusaka, O. Yokoyama: Is overactive bladder another facet of the metabolic syndrome? : a cross-sectional study among Japanese men and women, International Continence Society 47th Annual Meeting (ICS2017), Physiology and Assessment Scientific Podium Short Oral Session 11, Firenze(Italy), 20170913

1741036 O. Yamaguchi, H. Kakizaki, Y. Homma, Y. Igawa, M. Takeda, O. Nishizawa, M. Gotoh, M. Yoshida, O. Yokoyama, N. Seki, T. Hamada, K. Kuroishi: Long-term anticholinergic add-on therapy in overactive bladder (OAB) patients refractory to mirabegron monotherapy: a multicentre, randomized study (MILAI II study), International Continence Society 47th Annual Meeting (ICS2017), Lower Urinary Tract and Therapeutics Scientific Podium Short Oral Session 2, Firenze(Italy), 20170913

1741037 Y. Aoki, C. Matsumoto, M. Okada, Y. Matsuta, H. Ito, Y. Kusaka, O. Yokoyama: Relationship between female overactive bladder and metabolic syndrome, The 12th Pan-Pacific Continence Society (PPCS) Annual Meeting, Seoul (Korea), 20170901

d. 一般講演（ポスター）

1741038 A. Itoga, X. Zha, Y. Aoki, Y. Matsuta, H. Ito, O. Yokoyama: Tadalafil improves the serum testosterone level in a rat model of metabolic syndrome, 16th Asia Pacific Society for Sexual Medicine & 12th Japan-Asian conference on Men's Health and Aging, Moderated poster presentation I, Chiang Mai(Thailand), 20171013

1741039 Y. Matsuta, Y. Aoki, H. Ito, O. Yokoyama: Night-time frequency deteriorate sleep and quality of life: an analysis of international prostate symptom score and sleep questionnaire, International Continence Society 47th Annual Meeting (ICS2017), Open Discussion ePosters 3 Scientific Open Discussion ePoster Session 35, Firenze(Italy), 20170915

1741040 Masako Fujii, Hironobu Akino, Kazuyo Terasaki, Yoshimi Kuwabara, Kimiko Kitahama: Checking failures and the estimation of risk-taking behaviors: A cross-sectional survey in a university hospital, 6th World Congress of Clinical Safety, Rome, Italy, 20170906

1741041 Shingo Kasamatsu, Yoko Ishimoto, Kazue Suwa, Naomi Emori, Kazufumi Sato, Koichi Uemura, Hironobu Akino: To Improving patient safety and Effective traceability of surgical instruments during sterilization process using GSI standards, 6th World Congress of Clinical Safety, Rome, Italy, 20170906

1741042

S. Inamura, H. Ito, T. Shinagawa, M. Tsutsumiuchi, M. Taga, M. Kobayashi, O. Yokoyama: Prostatic stromal inflammation is associated with bladder outlet obstruction in patients with benign prostatic hyperplasia, EAU2018, New insights in LUTS/BPH pathophysiology and therapeutic targets Poster Session 83, Copenhagen(Denmark), 20180319

1741043

Y. Aoki, C. Matsumoto, Y. Matsuta, H. Ito, Y. Kusaka, O. Yokoyama: Relationship between overactive bladder and metabolic syndrome: A cross-sectional study among Japanese men and women, AUA Annual Meeting 2017, Boston(USA), 20170515

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会 (全国レベル)

a. 招待・特別講演等

1741044

横山 修: 排尿機能・神経泌尿器科, 第2回日本泌尿器科学会ウィンターセミナー2018, 専門領域部会長講演①, 神戸市, 20180127

1741045

堤内 真実: いつ行くの?今でしょ!ー女性泌尿器科ー, 第19回日本女性骨盤底医学会, 市民公開講座 産後から始まる骨盤ケアー尿トラブル・脱はどう治す?ー, 福井市, 20170730, 第19回日本女性骨盤底医学会 プログラム・抄録集, 7, 201706

b. シンポジスト・パネリスト等

1741046

青木 芳隆: 女性の過活動膀胱と夜間頻尿の背景に潜む疾患を考える, 第32回日本女性医学学会学術集会, モーニングセミナー2, 大阪市, 20171105

1741047

青木 芳隆: 一緒にOAB の未来を語りましょう, 第105回日本泌尿器科学会総会, ランチョンセミナー41, 鹿児島市, 20170421, 第105回日本泌尿器科学会総会プログラム, 178, 201703

1741048

松田 陽介: 神経変調療法: 期待される効果とその位置付け, 第105回日本泌尿器科学会総会, Update 企画01 難治性過活動膀胱の治療戦略, 鹿児島市, 20170421, 第105回日本泌尿器科学会総会プログラム, 51, 201703

1741049

秋野 裕信: 医療安全活動の今後の課題と展望, 第4回日本医療安全学会, 東京, 20180217

1741050

福島 正人: 今日からあなたが最前線! 最初の課題POP-Q と当施設でのLSC(Laparoscopic sacrocolpopexy), 第67回日本泌尿器科学会中部総会, シンポジウム13 女性泌尿器科診療の最前線, 大阪市, 20171126, 第67回日本泌尿器科学会中部総会 プログラム・抄録集, 163, 201709

1741051

伊藤 秀明: 小径腎がんに対するactive surveillance, 第67回日本泌尿器科学会中部総会, シンポジウム1 小径腎がんに対する治療戦略, 大阪市, 20171124, 第67回日本泌尿器科学会中部総会 プログラム・抄録集, 89, 201709

1741052

横山 修: 前立腺肥大症の新たな病態からその治療を考察する, 第24回日本排尿機能学会, 教育セミナー1 「男性下部尿路症状と前立腺肥大症」, 東京都江東区, 20170928

1741053

福島 正人: TVM手術の成績と合併症としてのびらん、LSCにかかる期待, 第19回日本女性骨盤底医学会, シンポジウム NTR/TVM/LSCの中〜長期的成績、機能評価も含めて, 福井市, 20170729, 第19回日本女性骨盤底医学会 プログラム・抄録集, 29, 201706

1741054

伊藤 秀明: 泌尿器科疾患における骨盤内手術とLUTS, 第19回日本女性骨盤底医学会, ランチョンセミナー2 骨盤内手術とLUTS, 福井市, 20170729, 第19回日本女性骨盤底医学会 プログラム・抄録集, 41, 201706

1741055

横山 修: Women's Pelvic Healthのための新たな治療戦略ー神経変調療法Interstim IIにかかる期待ー, 第19回日本女性骨盤底医学会, イブニングセミナー 女性骨盤底疾患と難治性下部尿路機能障害への治療戦略, 福井市, 20170729, 第19回日本女性骨盤底医学会 プログラム・抄録集, 46, 201706

1741056

横山 修: 夜間頻尿/夜間多尿と高血圧からみたOAB の治療戦略ー全国調査結果から, 第105回日本泌尿器科学会総会, モーニングセミナー1, 鹿児島市, 20170422, 第105回日本泌尿器科学会総会プログラム, 180, 201703

c. 一般講演 (口演)

1741057

小林 久人, 稲村 聡, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 経尿道的前立腺手術の切除率とLUTS・排尿パラメーターに関する臨床的検討, 第24回日本排尿機能学会, 口演18 「M-LUTS/BPH6」, 東京都江東区, 20170930

1741058

松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 夜間頻尿は睡眠満足度を障害する, 第24回日本排尿機能学会, 口演13 「夜間頻尿2」, 東京都江東区, 20170930

1741059

青木 芳隆, 糸賀 明子, 松田 陽介, 伊藤 秀明, 佐々木 喜久子, 横山 修: 外来受診女性患者を対象とした sexual well-being に関する調査, 日本性機能学会第28回学術総会, 一般口演5 「女性性機能」, 東京都新宿区, 20170923

1741060

小林 久人, 稲村 聡, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 経尿道的前立腺手術の切除率に関する臨床的検討, 第105回日本泌尿器科学会総会, 一般演題口演75 BPH/手術, 鹿児島市, 20170423, 第105回日本泌尿器科学会総会プログラム, 145, 201703

1741061

秋野裕信、桑原宜美、寺崎和代、北浜紀美子、藤井真砂子: 医師のオカレンス報告が増加したことに関係した事柄は何か, 第12回医療の質・安全学会, 千葉市, 20171125

1741062

山口 脩, 井川 靖彦, 柿崎 秀宏, 後藤 百万, 関 成人, 武田 正之, 西澤 理, 本間 之夫, 横山 修, 吉田 正貴, 興津 彰, 濱田 拓也, 小林 亜紀子, 黒石 健太郎: ミラベロン治療中の過活動膀胱症状残存患者に対する抗コリン薬追加併用の長期の有効性と安全性ーMILAI 2 studyー, 第24回日本排尿機能学会, 口演07 「OAB2」, 東京都江東区, 20170929

1741063

稲村 聡, 品川 友親, 星野 瞳, 酒井 康弘, 今村 好章, 横山 修, 小林 基弘: 前立腺の慢性炎症と下部尿路症状ー高内皮細静脈HEV-like vesselによる慢性炎症の定量化と下部尿路症状との関連ー, 第24回日本排尿機能学会, 学会賞候補演題 基礎, 東京都江東区, 20170929

1741064

青木 芳隆, 岡田 昌裕, 松田 陽介, 伊藤 秀明, 松本 智恵子, 日下 幸則, 横山 修: 女性の過活動膀胱とメタボリック症候群は関連する: 住民健診受診女性7,165人を対象とした横断研究, 第24回日本排尿機能学会, 口演03 「OAB1」, 東京都江東区, 20170928

1741065

稲村 聡, 品川 友親, 堤内 真実, 多賀 峰克, 伊藤 秀明, 横山 修, 小林 基弘: 手術標本を用いた前立腺肥大症と炎症の検討ー非導管周囲性の炎症は臨床症状をより増悪させるー, 第105回日本泌尿器科学会総会, 一般演題口演77 BPH/基礎・薬物療法, 鹿児島市, 20170423, 第105回日本泌尿器科学会総会プログラム, 146, 201703

1741066

武田 正之, 後藤 百万, 吉田 正貴, 横山 修, 柿崎 秀宏, 高橋 悟, 舩森 直哉: 夜間多尿を有する過活動膀胱患者の尿産生、排尿量および第一覚醒時間に対するイミダフェナシンの効果, 第105回日本泌尿器科学会総会, 一般演題口演30 排尿機能/臨床③, 鹿児島市, 20170421

d. 一般講演 (ポスター)

1741067

糸賀 明子, 青木 芳隆, 堤内 真実, 稲村 聡, 松田 陽介, 伊藤 秀明, 横山 修, 大山 伸幸: 精巣胚細胞腫瘍における晩期再発症例の臨床的検討, 第67回日本泌尿器科学会中部総会, ポスター15 精巣, 大阪市, 20171126, 第67回日本泌尿器科学会中部総会 プログラム・抄録集, 67, 201709

1741068

多賀 峰克, 品川 友親, 小林 久人, 堤内 真実, 稲村 聡, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 金属尿管ステント交換時の工夫, 第67回日本泌尿器科学会中部総会, ポスター12 結石・ステント2, 大阪市, 20171126, 第67回日本泌尿器科学会中部総会 プログラム・抄録集, 65, 201709

1741069

増田 利恵, 岩本 伊代, 吉本 美喜子, 中村 威彦, 木村 知行, 青木 芳隆, 横山 修: 脊髄梗塞後に尿意が減弱した患者への尿量モニタを用いた蓄尿量自己測定指導の経験, 第30回日本老年泌尿器科学会, 一般ポスター4, 東京都千代田区, 20170609, 第30回日本老年泌尿器科学会プログラム・抄録集

- 1741070** Philippe Violette, Arnav Agarwal, 青木 芳隆, Vernooij Robin, Rufus Cartwright, Giacomo Novara, Thomas Taily, 荒井 陽一, Samantha Craigie, Gordon Guyatt, Kari Tikkinen: 泌尿器科手術における静脈血栓予防法の国際比較: International Survey on Use of Thromboprophylaxis in Urological Surgery (ISTHMUS), 第105回日本泌尿器科学会総会, 一般演題ポスター69 統計, 鹿児島市, 20170423, 第105回日本泌尿器科学会総会プログラム, 152, 201703
- 1741071** 青木 芳隆, 岡田 昌裕, 松田 陽介, 伊藤 秀明, 横山 修: 夜間頻尿と不眠の双方向の関係: 住民健診受診者を対象とした縦断的解析, 第105回日本泌尿器科学会総会, 一般演題ポスター69 統計, 鹿児島市, 20170423, 第105回日本泌尿器科学会総会プログラム, 152, 201703
- 1741072** 品川 友親, 多賀 峰克, 稲村 聡, 堤内 真実, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 前立腺生検陽性コア数と病理学的病期との関連, 第105回日本泌尿器科学会総会, 一般演題ポスター50 前立腺腫瘍/生検・検診, 鹿児島市, 20170422, 第105回日本泌尿器科学会総会プログラム, 120, 201703
- 1741073** 福島 正人, 横山 修, 伊藤 秀明, 青木 芳隆, 松田 陽介, 関 雅也, 糸賀 明子, 堤内 真実: 腹腔鏡下陰仙骨固定術において安全に子宮を摘出するのに有用なMorSafeの使用経験について, 第105回日本泌尿器科学会総会, 一般演題ポスター14 女性泌尿器/手術 (LSC), 鹿児島市, 20170421, 第105回日本泌尿器科学会総会プログラム, 80, 201703
- 1741074** 伊藤 秀明, 関 雅也, 多賀 峰克, 山内 寛喜, 松田 陽介, 横山 修: ロボット支援前立腺全摘除術後の早期尿禁制に影響する因子の検討, 第105回日本泌尿器科学会総会, 一般演題ポスター95 ロボット支援/前立腺・尿禁制, 鹿児島市, 20170423, 第105回日本泌尿器科学会総会プログラム, 165, 201703
- 1741075** 多賀 峰克, 松田 陽介, 伊藤 秀明, 北村 寛, 宮澤 克人, 溝上 敦, 横山 修: 北陸3県における腎臓動向, 第105回日本泌尿器科学会総会, 一般演題ポスター43 腎臓病/手術②, 鹿児島市, 20170422, 第105回日本泌尿器科学会総会プログラム, 116, 201703
- 1741076** 村元 暁文, 黒川 哲之, 小林 久人, 岡田 昌裕, 多賀 峰克, 伊藤 秀明, 横山 修: 福井大学病院と関連施設における二分脊椎症に伴う神経因性膀胱患者の下部尿路管理についての検討, 第105回日本泌尿器科学会総会, 一般演題ポスター72 小児/下部尿路・性器, 鹿児島市, 20170423, 第105回日本泌尿器科学会総会プログラム, 154, 201703
- e. 一般講演**
- f. その他**
- (3) 国内学会 (地方レベル)**
- a. 招待・特別講演等**
- b. シンポジスト・パネリスト等**
- c. 一般講演 (口演)**
- 1741077** 多賀 峰克, 小林 久人, 品川 友親, 稲村 聡, 関 雅也, 福島 正人, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 当院における高齢結石患者加療の検討, 第459回日本泌尿器科学会北陸地方会, 臨床研究, 金沢市, 20180303
- 1741078** 大江 秀樹, 堤内 真実, 福島 正人, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 慢性骨盤痛を伴った成人女性の尿道狭窄の1例, 第459回日本泌尿器科学会北陸地方会, 症例報告2, 金沢市, 20180303
- 1741079** 堤内 真実, 伊藤 秀明, 谷尾 信, 小林 久人, 大江 秀樹, 糸賀 明子, 品川 友親, 稲村 聡, 関 雅也, 多賀 峰克, 山内 寛喜, 福島 正人, 松田 陽介, 青木 芳隆, 横山 修: 当院の高齢去勢抵抗性前立腺癌患者に対する化学療法の検討, 第458回日本泌尿器科学会北陸地方会, 臨床研究, 金沢市, 20171203
- 1741080** 稲村 聡, 小林 久人, 多賀 峰克, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 後腹膜腔に発生したChronic Expanding Hematomaの1例, 第458回日本泌尿器科学会北陸地方会, 症例報告1, 金沢市, 20171203
- 1741081** 松田 陽介, 糸賀 明子, 堤内 真実, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修, 浦邊 真智, 銭丸 康夫: 成長ホルモン分泌不全を伴ったクラインフェルター症候群の1例, 第457回日本泌尿器科学会北陸地方会, 症例報告1, 金沢市, 20170902
- 1741082** 糸賀 明子, 青木 芳隆, 堤内 真実, 稲村 聡, 松田 陽介, 伊藤 秀明, 横山 修, 大山 伸幸: 精巣腫瘍における晩期再発症例の臨床的検討, 第456回日本泌尿器科学会北陸地方会, 臨床研究, 金沢市, 20170603
- d. 一般講演 (ポスター)**
- e. 一般講演**
- f. その他**
- (4) その他の研究会・集会**
- a. 招待・特別講演等**
- b. シンポジスト・パネリスト等**
- 1741083** 青木 芳隆: 排尿ケアチームの活動開始により排尿ケアはどう変わったか?, 第30回北陸排尿障害研究会, コーヒーブレイクセミナー, 金沢市, 20170702
- c. 一般講演 (口演)**
- 1741084** 大江 秀樹, 堤内 真実, 福島 正人, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 慢性骨盤痛を伴った成人女性の尿道狭窄の1例, 第8回UDSフォーラム, Session I, 福島市, 20180203
- 1741085** A. Itoga, X. Zha, Y. Aoki, Y. Matsuta, H. Ito, O. Yokoyama: Tadalafil improves the serum testosterone level in a rat model of metabolic syndrome, Nagoya Shinsyu Forum 2017, Scientific Session I, 東京都江東区, 20171001
- 1741086** 品川 友親, 多賀 峰克, 稲村 聡, 堤内 真実, 谷尾 信, 関 雅也, 山内 寛喜, 福島 正人, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 星野 瞳, 酒井 康弘, 小林 基弘, 横山 修: 微小乳頭型膀胱癌における糖鎖を持つMUC1の役割について, 第21回北陸腎泌尿器癌研究会, 金沢市, 20170902
- 1741087** 斎藤 真希, 天谷 佳恵, 藤井 芽久美, 五十嵐 千秋, 渡部 雄大, 高山 マミ, 松村 真裕美, 黒田 正子, 大北 美恵子, 室井 洋子, 堤内 真実, 青木 芳隆, 横山 修: 福井大学医学部附属病院の排尿自立指導導入における脳神経外科・神経内科病棟の取り組み, 第30回北陸排尿障害研究会, 一般演題 (Ⅲ), 金沢市, 20170702
- 1741088** 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 難治性過活動膀胱に対する経皮的末梢神経刺激の有効性に関する検討, 第30回北陸排尿障害研究会, 一般演題 (Ⅱ), 金沢市, 20170702
- 1741089** 品川 友親, 多賀 峰克, 稲村 聡, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修, 小上 瑛也: 前立腺癌手術症例における断端陽性と生検との関係の検討, 北陸泌尿器科研究会 (第22回北陸前立腺癌研究会), 金沢市, 20170603
- 1741090** 糟野 健司, 横井 靖二, 伊藤 秀明, 多賀 峰克, 福島 佐知子, 森田 紗由, 小林 麻美子, 森川 幸恵, 三上 大輔, 高橋 直生, 木村 秀樹, 秋野 裕信, 横山 修, 岩野 正之: リツキシマブを用いたABO不適合腎移植と抗HLA抗体陽性腎移植の自験例, 第16回福井県血液浄化談話会, 福井市, 20170423, 第16回福井県血液浄化談話会プログラム
- 1741091** 稲村 聡, 品川 友親, 星野 瞳, 酒井 康弘, 今村 好章, 横山 修, 小林 基弘: 前立腺の慢性炎症と下部尿路症状-High endothelial venule-like vessel による慢性炎症の定量化と下部尿路症状との関連, 第22回北陸泌尿器科 Basic Research Meeting, 一般演題1, 金沢市, 20180303
- 1741092** 小林 久人, 多賀 峰克, 伊藤 秀明, 横山 修: 抗HLA抗体陽性夫婦間ABO適合生体腎移植の1例, 第12回北陸腎移植検討会, 症例検討, 金沢市, 20171028
- d. 一般講演 (ポスター)**

4. グラント取得

(A) 科 研 費 ・ 研 究 助 成 金 等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	脳梗塞に伴う過活動膀胱の発症予防を目指す非神経因性膀胱壁過緊張に関する研究	秋野 裕信	横山 修, 松田 陽介	2017	1950000
文部科学省科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	慢性ストレスと肥満：なぜ下部尿路機能障害を起こすのか？	横山 修		2017	780000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	腎癌におけるmicroRNA-204によるオートファジー制御の	伊藤 秀明		2017	2470000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	夜間頻尿の変動はその関連疾患の変化を察知する代用マーカーとなるか？	青木 芳隆		2017	1170000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)	膀胱からの水再吸収、アクアポリン分子は夜間多尿の解決策と成り得るか	横山 修	伊藤 秀明, 青木 芳隆, 松田 陽介, 山内 寛喜, 小林 基弘	2017	10270000
厚生労働省科学研究費補助金	難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）	間質性膀胱炎の患者登録と診療ガイドラインに関する研究	横山 修		2017	0

(B) 奨 学 寄 附 金

受入件数	15
受入金額	12400000

5. その他の研究関連活動

(A) 学 会 関 連 等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学 会 の 実 績

学会の名称	役職	氏名
日本老年泌尿器科学会	理事（理事）	横山 修
日本排尿機能学会	代議員（代議員）	横山 修
日本泌尿器科学会	代議員（代議員）	横山 修
日本排尿機能学会	理事長	横山 修
日本女性骨盤底医学会	理事（理事）	横山 修
日本脊髄障害医学会	評議員	横山 修
日本老年泌尿器科学会	評議員（評議員）	横山 修
日本Men's Health医学会	理事（理事）	横山 修
日本アンドロロジー学会	評議員（評議員）	横山 修
日本排尿機能学会	理事	横山 修
日本泌尿器内視鏡学会	代議員（代議員）	伊藤 秀明
日本内視鏡外科学会	一般会員	伊藤 秀明
日本Endourology・ESWL学会	一般会員	伊藤 秀明
日本癌治療学会	一般会員	伊藤 秀明
日本癌学会	一般会員	伊藤 秀明
日本泌尿器科学会	一般会員	伊藤 秀明
日本排尿機能学会	代議員	青木 芳隆
日本小児泌尿器科学会	一般会員	青木 芳隆
国際禁制学会	一般会員	青木 芳隆
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	一般会員	青木 芳隆
日本排尿機能学会	代議員	松田 陽介
前立腺癌密封小線源永久挿入治療研究会（前立腺シード研究会）	一般会員	松田 陽介
日本Endourology・ESWL学会	一般会員	松田 陽介
日本排尿機能学会	一般会員	松田 陽介

(C) 座 長

国内学会	学会名	氏名
招待・特別講演等	第3回福井、医療の質・安全を考える会	秋野 裕信
その他	テルモ メディカルセミナーin北陸	秋野 裕信
その他	第15回福井県透析移植連絡協議会	秋野 裕信

(D) 学 術 雑 誌 等 の 編 集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
----------	------------	----

(E) そ の 他

1741093

青木 芳隆, Heidi W. Brown, Linda Brubaker, Jean Nicolas Cornu, J. Oliver Daly, Rufus Cartwright: 2017年度前期優秀論文賞（医学研究推進室）, Urinary incontinence in women, 2017